

さかなクンがみたESD

—「国連ESDの10年」最終年を迎えて—

今、世界的に広まりつつある言葉『Sustainable（サステナブル）』

「持続可能な」という意味を持つ言葉です。

ESD(Education for Sustainable Development)とは、自然環境だけでなく、さまざまな社会問題—人権、平和、貧困なども合わせて解決することにより、次世代の社会や環境を損なわない、生態的に持続可能で社会的に公正な地球社会を実現しようとする「持続可能な開発のための教育」です。

本学は、日本で初めてESD研究機関として設立されたESD研究センター（2007～2011年）と、その後継組織であるESD研究所（2012年～）の活動を通じ、国内外におけるESDの普及に努めてきました。

「国連ESDの10年（DESD）」が最終年を迎える本年、ESDに関するユネスコ世界会議が、11月に日本で開催されます。最終年合会を前に、私たちは今、持続可能な社会や未来のありかたをどのように考えるべきなのか。

ESDオフィシャルサポーター（文部科学省）であり、魚を通して環境問題や持続可能な社会の実現に関する活動を行っているさかなクンを講師にお招きして、さかなクンが考えるESDと持続可能な未来の姿についてお話をうかがいます。

また、「国連ESDの10年」の提案者でもある本学ESD研究所所長・阿部治と、最終年合会後の活動などについて、対談を行います。



■日時

2014年7月8日(火)

18:30～20:30

■場所

池袋キャンパス
11号館 AB01教室

■プログラム

第1部：基調講演

「さかなクンがみたESD」

第2部：記念対談

「国連ESDの10年」最終年を迎えて

■その他

入場無料、事前申込み不要

※どなたでもご参加いただけます。

■講師略歴 さかなクン（東京海洋大学客員准教授）

魚を通じて、漁業・魚食、環境問題や低炭素社会の実現に向けて全国各地で公演活動を行っている。2010年には、絶滅したと思われていたクニマスの生息確認に貢献。さらに海洋に関する普及・啓発活動の功績が認められ、「海洋立国推進功労者」として内閣総理大臣賞を受賞。現在、2014年11月に名古屋・岡山で開かれるESDユネスコ世界大会に向け、環境省有識者会議に出席。国連「ESDの10年」後の環境教育推進方策懇談会委員、国連生物多様性の10年委員会（UNDB-J）地球いきもの応援団生物多様性リーダー（環境省）、お魚大使（農林水産省）、日本ユネスコ国内委員会広報大使、ESDオフィシャルサポーター（文部科学省）等も務める。

『朝日小学生新聞』『家庭画報』『月刊ローソンチケット』でコラム連載中。

お問い合わせ先はこちら

立教大学ESD研究所（担当：後藤）

東京都豊島区西池袋3-34-1池袋キャンパス12号館2階

TEL&FAX：03-3985-2686（内線：2686）

E-mail：esdrc@rikkyo.ac.jp



立教大学
環境プログラム



私たちはESDを応援しています。
ESDは持続可能な社会づくりを目指す活動です。
ESD: Education for Sustainable Development



さ
か
な
ク
ン
講
演
会